

うつくしまエコイベント申請書

(事務局 F A X 番号 : 024-521-7928)

		申込年月日		
イベント名				
開催場所	住所及び施設名			
開催期間	開始 : 平成 年 月 日	終了 : 平成 年 月 日		
主催者	主催者名			
	住所			
	イベントの問い合わせ先 (電話番号)			
共催・後援	県の共催・後援の有無 有 ・ 無	(承認した県の機関名 :)		
申請担当者	職		氏 名	
	電 話		Eメール	
取組項目	Step	取組内容 (実施予定のものに「 」をつけてください)		
(1)自然環境への配慮	Step 1			
	Step 2			
	上記以外の取組み			
(2)ごみ減量化・リサイクル	Step 1			
	Step 2			
	上記以外の取組み			
(3)交通による環境負荷対策	Step 1			
	Step 2			
	上記以外の取組み			
(4)省資源・省エネルギー	Step 1			
	Step 2			
	上記以外の取組み			
(5)参加者への普及啓発	Step 1			
	Step 2			
	上記以外の取組み			
(6)環境配慮を推進する運営体制	Step 1			
	Step 2			
	上記以外の取組み			
その他の取組み				
情報提供の可否	エコイベント開催情報をホームページ等で情報提供してよろしいでしょうか。よろしければ右の欄に「 」をつけてください。			

認定を受けるには、(6)を含む3項目以上でStep 1を全て実施する必要があります。

うつくしまエコイベントマニュアルの取組事項

(1) 自然環境への配慮

Step1 (必須)	Step2 (努力)
<p>可能な範囲で、イベントの開催が自然環境へどのような影響を与えるのかを考えます。 会場設置に当たっては、既存施設を活用するなどして自然環境への影響を最小限にします。 植樹、魚の放流等を行う場合は、生態系への影響に配慮します。 自然公園や自然環境保全地域等を利用するときは、その規則を守ります。</p>	<p>事前に会場周辺の生態系を調べます。 施設の設置に当たっては、自然環境に配慮した工法を活用します。 施設の設置に当たっては、会場周辺の景観に配慮します。 環境に与えた影響については、原状回復を図ります。 各種ボランティア団体等の協力を得るなどして、参加者が自然に学び、ふれあう機会の創出を図ります。</p>

(2) ごみ減量化・リサイクル

Step1 (必須)	Step2 (努力)
<p>チラシや資料等は必要部数を考慮して、無駄のないように用意します。 余ったチラシや資料等は再使用、再生利用します。 参加者に、ごみの持ち帰り、減量化、分別等の協力を求めます。 ごみは、会場がある市町村のルールに従ってきちんと分別します。</p>	<p>ごみの分別方法等を説明するスタッフを配置します。 マイバッグ、マイ食器の利用や簡易包装を呼びかけます。 マイバッグ、マイ食器などにより環境配慮に協力している参加者へ特典を与えます。 食品廃棄物やイベント資材の再生利用等に取り組みます。</p>

(3) 交通による環境負荷対策

Step1 (必須)	Step2 (努力)
<p>会場の選定に際しては、可能な限り公共交通機関の利用に配慮します。 徒歩、自転車、公共交通機関等の環境負荷の少ない手段の利用を呼びかけます。 自動車の効率的な利用(相乗り等)やアイドリングストップを呼びかけます。</p>	<p>パーク・アンド・ライド環境の整備やシャトルバスの活用により、効率的な交通手段を用意します。 効率的な自動車の誘導、交通経路の情報提供等を実施するとともに、必要に応じて交通規制を行います。 交通渋滞を引き起こさないように、イベント開催時間を適切に設定します。 公共交通機関の利用、自動車の相乗りなど、環境配慮に協力している参加者に対して特典を与えます。 電気自動車、ハイブリッド自動車などの低公害車を活用します。</p>

(4) 省資源・省エネルギー

Step1 (必須)	Step2 (努力)
<p>チラシや資料等は必要部数を考慮して、無駄のないように用意します。(再掲) 照明や空調によるエネルギー消費をできるだけ少なくします。 参加者に省資源・省エネルギーへの協力を呼びかけます。 物品等の購入に当たっては、環境に配慮した商品(エコマーク、グリーンマーク商品等)の購入に努めます。</p>	<p>インターネット等を活用して、資源を節約したPRを行います。 施設の設置に当たっては、間伐材を利用したり、高断熱、自然採光等の省エネ工法を活用します。 節水型トイレや雨水利用システム等の省資源型設備を導入します。 会場内の照明や移動手段の動力源等に、太陽光発電や生ごみ発電等の新エネルギーを活用します。 資材、物品等はできるだけ地域で生産されたものを調達するよう心がけるとともに、イベントの講師等には地域で活動する方を積極的に活用します。</p>

(5) 参加者への普及啓発

Step1 (必須)	Step2 (努力)
<p>環境に配慮したイベントであることを積極的にPRします。 環境配慮の内容を参加者にわかりやすく示し、協力を求めます。</p>	<p>参加者自らが環境への配慮を体験できるようにします。 参加者に各種環境関連情報を積極的に提供します。 ボランティア団体等と連携し、参加者が環境について学ぶ機会を提供します。</p>

(6) 環境配慮を推進する運営体制

Step1 (必須)	Step2 (努力)
<p>環境に配慮したイベントとすることを宣言し、計画(取組項目、内容等)を立てます。 環境配慮を推進する責任者を決めて、進行管理を行います。 スタッフや出展者等に取組項目等を事前に説明し、環境配慮の徹底を図ります。 取組結果をチェックして、常にステップアップを図ります。</p>	<p>取組内容や成果を積極的にPRし、他のイベントにおける環境配慮に貢献します。 各種ボランティア団体等との連携・協働を図ります。 ユニバーサルデザインの考え方に基づいた運営を行います。</p>